

第二回 文選

職工代表と

社長及重役との合見

(廿六日)

字のり

軍の二款から不敬馬のたゞと成り能く  
うたふるおかし 無限の同情を著して附た。同一  
午後十時迄く辞去)

(一同合見前に自筆自印の上確定なる代表者も  
選定す)

社長及重役

合見は諸君は代表者として御出に附つたりありますか。

職工側

さうしてあります。

会社側

それでは諸君進めよう。他の条件は全部承認し

てもよいが 七割増給に就ては 会社側としては倒産  
諸君に満足なる解着を要へることかあるまい。  
蓋して二割増給といふとよく、それ以上の増給  
は絶対に本意ない。と云うんだ(と念を押した)

職工側

二割の増給には私も倒産即ちお約束ません。

会社側

諸君は代表者として調印をなすに選定されたわけ  
ないか 即ちお約束といふことかたいやうないか。

職工側

七割がよいう二割とす小くは倒産即ちお約束  
せん。  
(一同による相談はなげかけたりあるから)